



# みんなで創ろう コウノトリの里

今回のテーマは、

Vol. 9

～関東に広がるエコロジカル・ネットワーク～ です!

このコーナーでは、本市に縁の深いコウノトリや豊かな自然環境とその保全に向けた取り組みなどを取り上げ、本市が進める「人にも生きものにもやさしいまちづくり」についてご紹介します。

問い合わせ / 地域活性化特命チーム (内線 2112)

## 広がる! 生きものを育むネットワーク～関東4県の30市町村が参加～

本市がコウノトリをシンボルに進めている「人にも生きものにもやさしい持続可能な環境づくり」は、関東一円へと大きく広がっています。

平成22年7月には、本市と千葉県野田市、栃木県小山市が中心となって「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」が設立されました。フォーラムでは、コウノトリやトキをシンボルに、多様な生物が生息可能な環境づくりの推進と、環境と経済が調和した地域振興・経済活性化を促す魅力的な地域づくりを目指し、関東4県の30市町村が連携して活動しています(平成28年8月末現在)。また、フォーラムの取組みと連動する形で、国・県の関係機関や学識経験者、関係市長、環境活動団体で構成される「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会(事務局:国土交通省関東地方整備局)」では、関東という広域の連携モデルとしてのエコロジカル・ネットワーク(※)の形成によるコウノトリ・トキの舞う魅力的な地域づくりの実現を目指し、基本構想、次いで基本計画を策定しました。今後、具体的な取組みを進めることとしており「検討段階」から「実行段階」へと移行しています。

いくら良い自然環境でも、それが小さな「点」であればいつか失われてしまいます。この「点」を大きな「点」に、そして「線」に、さらには「面」に広げていかなければなりません。関東各地の取組みと広域的な連携を図り、本市でコウノトリが定着できるような、たくさんの生きものを育む豊かな自然環境づくりを進めていきます。

※エコロジカル・ネットワーク:野生生物が生息・生育するさまざまな空間(森林、農地、都市内緑地・水辺、河川、海、湿地・湿原・干潟・藻場・サンゴ礁等)がつながる生態系のネットワークのこと

## ひなちゃんニュース



その1

### 原口市長が「コウノトリ・トキの舞う 関東自治体フォーラム」の代表理事に就任したよ!

5月に行われた総会で、原口市長は代表理事に就任し「関東一円に広がる参加自治体を取りまとめ、関東でのエコロジカル・ネットワークの推進に向けて、着実に取り組んでいきたい」と意気込みを語ったよ。



その2

### 荒川流域にコウノトリが飛来したよ!

7月6日、川島町の水田にコウノトリが舞い降りたよ。このコウノトリは、6月4日に千葉県野田市「こうのとりの里」で放鳥された2羽の幼鳥のうちの1羽で「きずな」という名前なんだ。コウノトリがやってきた荒川の中流域では、荒川に面している鴻巣市、桶川市、北本市、川島町、吉見町の3市2町と、荒川を所管する国土交通省荒川上流河川事務所、そして埼玉県が「荒川流域コウノトリ地域づくり連絡会」を作って一緒に活動しているよ。コウノトリが遊びに来たのは、みんなが頑張っているのを応援しに来たんだね。鴻巣の空にも、コウノトリが羽ばたく日がくるといいな。

